

佐渡生きものの語り 作品集 2014



「生きものの語り」について

平成20年、一度は姿を消した朱鷺が佐渡の空に舞い戻ってきました。これを機に佐渡では、朱鷺の餌場である田んぼを生きものでいっぱいにと、農薬や化学肥料を極力減らし、生きものたちの命を大切にする環境との共生を目指す「生きものを育む農法」を取り入れました。

私たちの最初の目標は「朱鷺の餌」を確保することでしたが、生きもの調査などを通して田んぼの生きものたちと身近に接していくうちに、田んぼには実に様々な生きものたちが命の営みを繰り返しながら懸命に生きている姿を目の当たりにします。そしてこの生きものたちの力を借りる事によって、より豊かな自然環境の創造やお米づくりができることを教えてもらったのです。

佐渡市では「朱鷺と暮らす郷づくり認証制度」を全島に広げ、より安心して美味しく食べてもらえる佐渡米づくりに奮闘しています。

毎年6月第2週と8月第1週の日曜日は「全島一斉生きもの調査の日」として農家はもちろんのこと、地域の子供たちや消費者も一緒になって生きものたちと向き合おうとしています。

「生きものの語り」とはそんな生きものたちへの〈まなざし〉を文章や川柳、イラストなどで表現したものです。

川柳・短歌部門 グランプリ作品

朱鷺を見て

学童動かず

秋の夕

品川 三郎
(佐渡市)

《選考委員から》

夕空に映えるトキ色の翼。美しいものを見た感動は、理屈抜きで心に染み入ります。
この子どもたちは、将来どんな佐渡を造ってくれるのでしょうか。

川柳・短歌部門 準グランプリ作品

生きものと 恵み分け合う 佐渡の情

梶浦 公靖 (東京都)

雨上がり 朱鷺と競うか 佐渡の虹

野原 重政 (兵庫県)

大空の 上からトキの おもてなし

綾部 保知 (茨城県)



フォトエッセイ部門 特別賞

※ フォト川柳部門は1作品のみの応募の為、特別賞とさせていただけます。



とと 父と一緒に田んぼのお世話

ペンネーム・茶爺 (佐渡市)

● 川柳・短歌部門 応募作品

佐渡キッズ 生きものの調べ あめんぼう 水馬

品川 三郎

佐渡に生き 小鳥も虫も みんな友

田岡 弘

我が田畑 トキが見守る 佐渡の空

木立慈雨

ありのまま 命をつなぐ 森川海

泰平楽

秘密基地 木の上じいじ やんちゃ顔

泰平楽

手をかざし ヤンマのあにき 棚田越え

泰平楽

朱鷺の舞う 空どこまでも 秋の青

貝田 ひでを

涼新た 島どつしりと 日本海

貝田 ひでを

稲干して 黄金の夕日 佐渡の空

貝田 ひでを

草木も 鳥も人もなびくよ 佐渡島

梶浦 公靖

四季の田に いきもの語り 佐渡賛歌

梶浦 公靖

いきものの 賛歌が聞こえる 佐渡の四季

梶浦 公靖

なびくのは 草木ばかりか 生きものも

梶浦 公靖

稲刈りを 雀の家族が 済むを待つ

梶浦 公靖

芋畑 ミミズ顔出す 雨上がり

梶浦 公靖

海鳥よ お供どこまで 佐渡フェリー

梶浦 公靖

朱鷺がいる 昭和の情景 ここにある

梶浦 公靖

佐渡 Kids 生きものの調査隊

米袋イラストギャラリー



佐渡 Kids 生きものの調査隊
須田 優心



佐渡 Kids 生きものの調査隊
宮川 優奈

佐渡の森	マイマイカブリが	かくれんぼ	らくちゃん
用水の	流れにイモリ	立ち向かい	らくちゃん
佐渡島	目指せ日本の	ジオトープ	らくちゃん
くちばしを	とがらせ孫は	トキの真似	綾部 保知
ひねくれて	くちばしとがらす	孫のトキ	綾部 保知
水槽の	イカの白さと	君の肌	綾部 保知
雨上がり	朱鷺と競うか	佐渡の虹	野原 重政
真野湾を	茜に染める	佐渡の夕	野原 重政
いわし雲	朱鷺も眺める	佐渡の秋	野原 重政
朱鷺が舞う	ノスタルジーだ	佐渡の空	野原 重政
佐渡おけさ	波まで踊る	たらい舟	野原 重政
朱鷺色を	見れば佐渡が	恋しなり	中村 宗一
大空を	自由に飛べる	佐渡が好き	中村 宗一
篝火に	落ち葉ざわめく	能楽堂	かたつむり
人里の	空に親子の	トキが舞う	かたつむり
日が沈む	沢崎鼻の	灯台に	みゃんくん
ダイビング	キャンプ磯釣り	佐渡島	みゃんくん
青い海	日本海なの	佐渡島	みゃんくん



佐渡 Kids 生きもの調査隊
三條 日菜子



佐渡 Kids 生きもの調査隊
三浦 里紗

渡り鳥 羽根を休める 佐渡の浜

みゃんくん

釣り人が 岩に群がる 佐渡の海

みゃんくん

過去未来 佐渡の歴史と 時流れ

野原 重政

のんびりと 海岸めぐる 二ツ亀

野原 重政

黄金色 佐渡金山の 歴史見る

野原 重政

荒海も 佐渡へ佐渡へと 波寄せる

野原 重政

佐渡島 朱鷺と歴史を 語り継ぐ

野原 重政

鬼太鼓の 神のり移る しだら打ち

かたつむり

トキ時は 里の田畑で 羽根休み

佐々木 文夫

佐渡おけさ 聞けばお酒も また美味し

綾部 保政

来島に 喜び顔の 雀たちて

綾部 保知

たらい舟 むかしの乙女 華ひらく

綾部 保知

一歩づつ 自然を友に 歩む佐渡

野原 重政

海原を 大波小波 佐渡目指す

野原 重政

たらい舟 佐渡の波間で 身を任す

野原 重政

朱鷺眺め 里山訪ね 佐渡巡る

野原 重政

トキの声 聴いて元気に なれる今

綾部 保知

おはようと 生きものたちに 今日もまた

綾部 保知



伊藤 蒼



古玉 俊平

ゆつくりと 佐渡の歴史に 朝が来る

小坂 武弘

トキが来て トキには和む トキの声

小坂 武弘

大自然 飲み食いすれば 温暖化

小坂 武弘

1年中 今が自然を 語るトキ

お酢

去りし日も 心に残る 佐渡のT O K I

森 惇

佐渡に行き トキに会えたら 幸福だ

山田 浩則

赤トンボ 追っかけている 佐渡のトキ

山田 浩則

時は今 野生に帰れ 朱鷺放つ

たかさま

雪虫の 飛ぶ方遙か 北の海

たかさま

ふるさとの 棚田の果てで 鹿の子泣く

たかさま

虫の音が 清かに響く 君の里

たかさま

稲の穂が 光り輝く 青春を

むこう

穂先から 湧き出る想い 手をそえて

むこう

新鮮な 気持で渡る 朱鷺の島

大釜 洋志

雨ごいを している蛙 ひょうきんに

綾部 保知

棚田より トキを見上げる 秋の暮

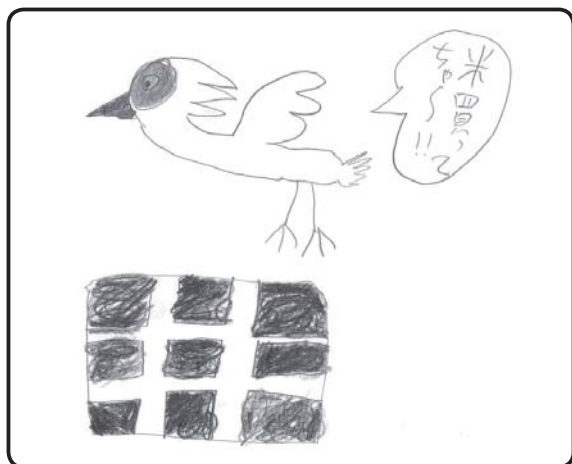
綾部 保知

元気です かえるもトキも 僕たちも

綾部 保知

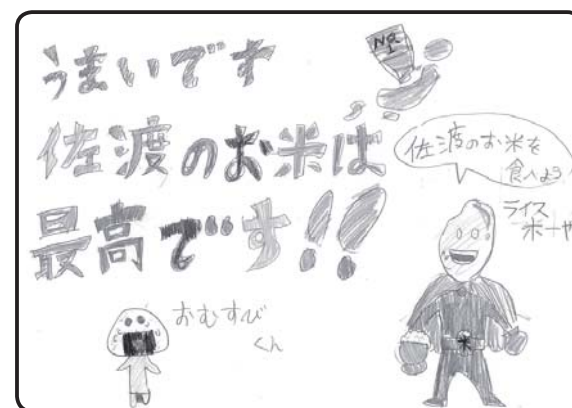
凜として 熱きドラマの 生息地

溪太



佐渡 Kids 生きもの調査隊

小林 幹



佐渡 Kids 生きもの調査隊

大豆生田 悠稀

朱鷺まもり 泥鰌棲む里 ビオトープ

溪太

佐渡守る 日本育み 地球愛す

溪太

人と虫 田んぼ賑わう 秋の郷

溪太

生態系 壊さず活かす 自然主義

溪太

竿の先 魚信まだかと 秋アカネ

溪太

外来魚 駆除活動や 薄紅葉

品川 三郎

絶滅を 努力で回避 時代の知恵

船岡 五郎

月連れて 行ってみようか 佐渡島

忘れられない あの祭笛

松原 実

田にドジョウ カエルにメダカ ゲンゴロウ 千葉さざんか

残照に おけさたゆたう 佐渡紀行ぞ 薬寺村池丸

佐渡の海 のたりのたりと たらい舟 エコ爺

佐渡の空 いつかは見れる ときの朱 エコ爺

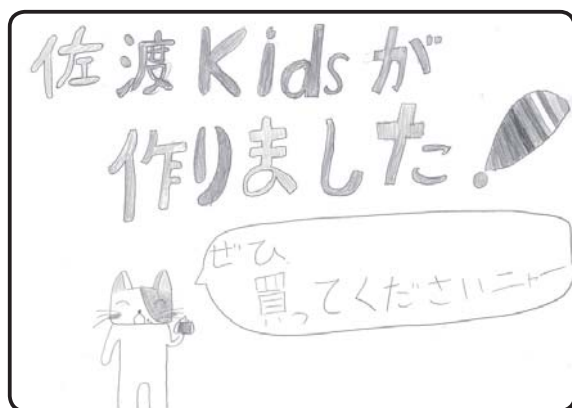
干し柿に 想い出すは 佐渡土産 エコ爺

佐渡の島 銀河が洗う 通い道 横山 関治朗

佐渡の海 飛んでいくのか 赤とんぼ 横山 関治朗

佐渡の道 「ネスパス館」で教えられ

これであなとも 佐渡の旅路へ 山田 秀夫



佐渡 Kids 生きもの調査隊

土屋 日向子



佐渡 Kids 生きもの調査隊

三條 日菜子

移り住む 友の便りも 大自然
豊富な恵み 絶賛の声 山田 秀夫

いにしへの 歴史のフロア 満ちており
タイムスリップの 伝説館 山田 秀夫

図鑑見る 植物園 そのままに
自然散策 癒しのガーデン 山田 秀夫

幽玄な 茅葺屋根の 能舞台
華麗に舞うて 大膳神社 山田 秀夫

酒蔵で 銘酒に加え 地ビールをも
美味に恵まれ 一杯と進む 山田 秀夫

あんぽ柿 イカながも丼 おみあげの
朱鷺の子らも 奥深い味 山田 秀夫

思いやる 人といのちに やすらぎと
安心がある 佐渡のいきもの 山田 秀夫

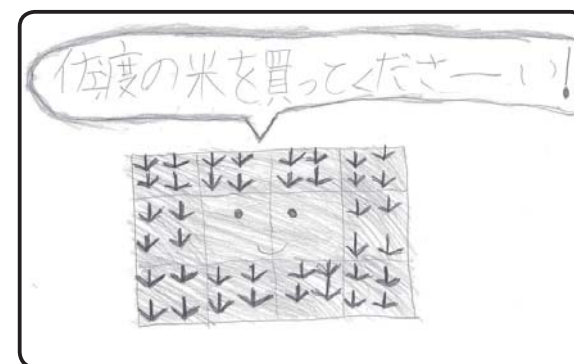
絶景に 出会う楽しみ 素晴らしい
奏でる芸も 世代を超えて 山田 秀夫

名歌手 新潟育ち 幸子さん
佐渡にも来させと 歌い続ける 山田 秀夫

江と田んぼ いっぱい生きもの動いてる
だからトキも ちゃんと生きれる
新潟大学教育学部附属新潟小学校 茂野 太郎

創ろうよ 生きもの、田んぼと 住める世界
新潟県立佐渡中等教育学校 野尻 達大

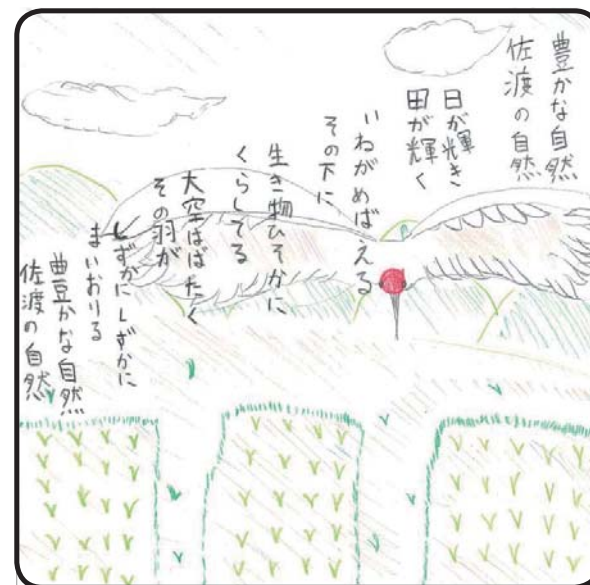
田んぼあり 空からトキが みあげてる
新潟県立佐渡中等教育学校 小林 美優



佐渡Kids生きもの調査隊
堂谷 彩



佐渡Kids生きもの調査隊
三條 彩夏

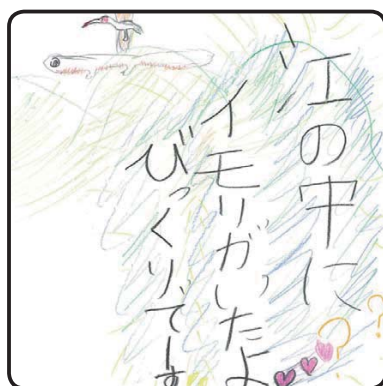


【選考委員から】

田畑を見下ろしながら優雅に飛ぶ朱鷺がいいですね。また、エッセイも素晴らしいです。太陽の下、田んぼで稲が育ち、生きもの達も育ち大空を飛んでいるトキが舞い降りようとしています。



森本 晃弘



田邊 晴弥



河内 颯一郎



藤井 航希



藤瀬 愛子



大竹 明里



渡辺 真由



丸田 絢光凛



掘 朱凜



篠田 英茉



吉田 有輝



川瀬 英一



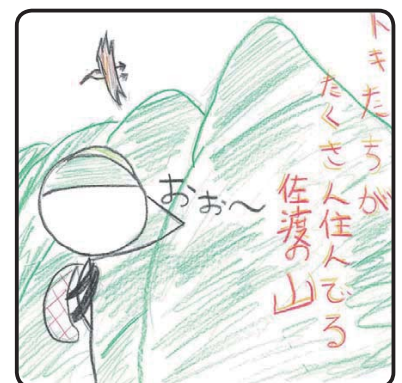
今野 龍一



小杉 悠翔



岩寄 亘平



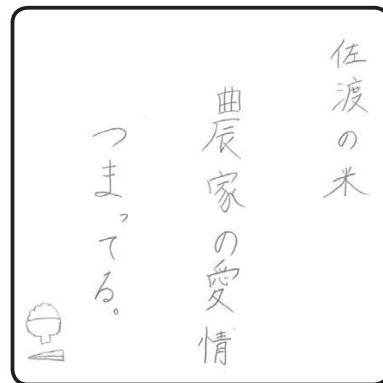
渡邊 烈



奥田 竜矢



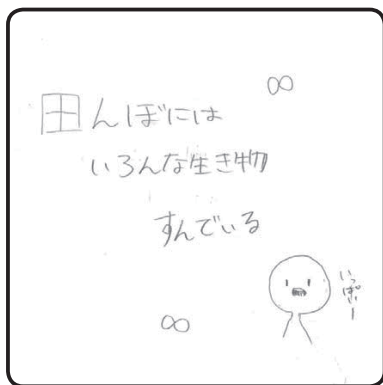
神蔵 菜々子



甲斐 綾香



須田 真由



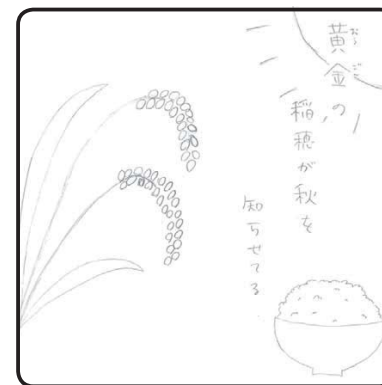
山本 衣織



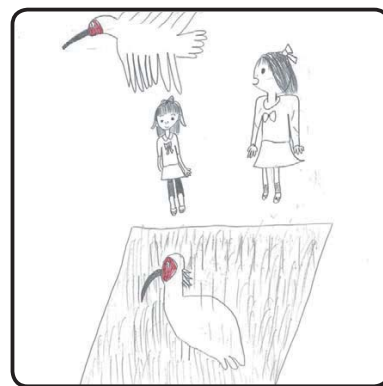
首藤 紗蔵



坂下 桃子



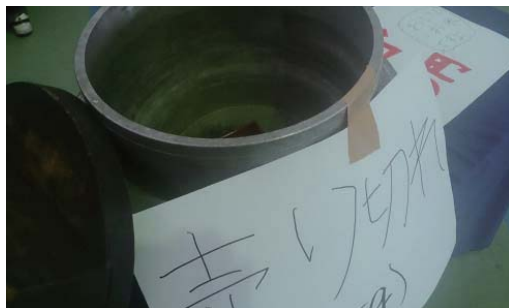
佐合 美彩希



市橋 柚希



筒井 悠介



生きもの語りの活用

佐渡 Kids 生きもの調査隊が、地産地消フェスタで、イラストやメッセージのラベルを貼ったお米を販売しました。

平成26年11月30日 佐渡市地産地消フェスタにて、「佐渡 Kids 生きもの調査隊」が、生きもののイラストや自分達が育てたお米のPRコメントを書いたラベルを貼った自然栽培米の販売を行いました。

当日は、子どもたち自ら、お客さんにお米の宣伝や、量り売りをし、60キロ用意したお米は早々に完売しました。

▼佐渡 Kids 生きもの調査隊とは？
自然栽培のお米づくり体験や、生きもの調査、PR活動など、田んぼや生きものと、人のつながりを考える活動を行っています。詳しくは、調査隊のフェイスブックページをご覧ください。

佐渡 Kids 生きもの調査隊 Facebook ページ



[https://www.facebook.com/ 佐渡 Kids 生きもの調査隊 -273715639353868/](https://www.facebook.com/佐渡 Kids 生きもの調査隊 -273715639353868/)





三浦 里紗



宇治 奈緒



名畑 莉花



古玉 ののか

◆ 後 記

平成24年、放鳥したトキから初めて4羽のヒナが育ちました。平成25年も繁殖に成功。平成26年には佐渡の自然の中で育ったトキが親になり、放鳥トキの孫にあたる3世も育ちました。今や野生のトキの総数は100羽を超えています。

これは国が立てた目標を1年早く達成するという快挙であり、佐渡の農家の取り組みである「生きものを育む農法」の効果をトキが証明してくれていると言えるでしょう。

自然の豊かさ、美しさ、その中で見つけたトキの姿、それを支える人びとの取り組みなど、様々な佐渡の魅力を、トキに負けずに人間からも発信していこうと、今年も佐渡生きものの語りを募集しました。

今年は川柳・短歌部門が101作品、イラストエッセイ部門が28作品、フォトエッセイ部門が1作品、そして佐渡に視察に来たインドネシアのオム・サイさんはポエム（詩）を寄せてくださいました。皆様、ありがとうございました。

これらの作品をご覧になった方々が、例えば佐渡への旅情をかき立てられたり、例えば田んぼ仕事の励みになったり、例えば佐渡のお米が食べたくなったりと、何かしらの思いを心に浮かべていただけたら幸いです。

2014年 3月

一般社団法人 佐渡生きものの語り研究所 理事長 仲川 純子



佐渡生きものの語り作品集 2014

発行日 平成27年3月31日 発行
編集・発行 一般社団法人 佐渡生きものの語り研究所
発行者 仲川 純子
表紙 佐渡地域おこし協力隊 小川 佳奈子
〒952-0103
新潟県佐渡市新穂潟上 1101-1 トキ交流会館2階
TEL/FAX 0259-22-2658 <http://sado-ikimonoken.jp/>
印刷・製本 新穂印刷